

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線215）までご連絡ください。■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

（中央保育園・五歳児）



■写真上段左から：山上はるかちゃん、遠藤ひかりちゃん、川崎ゆうきちゃん、稲垣あやのちゃん ■写真下段左から：阿部けいた君、金川しゅう君、山上りょう君

ぼたくの自信作

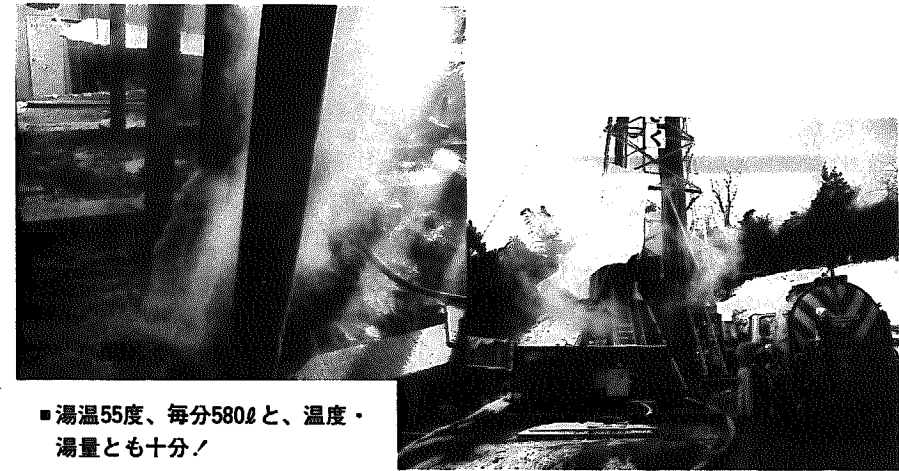
### 50度以上の湯が自噴

—岩室カウラビ沢の新源泉で—

昨年7月から村で掘削を進めていた新源泉では、昨年未までに、予定していた1,500mに到達し、年明けの4日、50度を超える“湯”が噴出しました。

今まではお湯の温度が足りず、冷鉱泉ということでイメージの面でアピール度が弱かったが、周辺に硫黄の匂いが立ちこめる熱いお湯に、関係者は大喜び。

今後は、配管工事などを経て、夏以降には、あふれる新しいお湯による《新生・岩室温泉》がスタートします。



■湯温55度、毎分580ℓと、温度・湯量とも十分！



岡本 範子さん  
（岩中2年・間瀬5区）



星野 景子さん  
（岩中3年・間瀬1区）

「暗くならないうちに家へ帰る」といった、小さい頃から自分の身を守る大切さを話してくれたら、一緒に記念写真を撮ったりしました。

だから、大人と違って金額は少しだけど、税金をちゃんと払っているし、人々の暮らしにも少しだけ役立っていると思ったりすごくうれしくなりました。

私は、社会の授業で税の話の話を聞くまでは、正直言って税金のことなんて知りませんでした。だから、「なんで税金を払わなきゃいけないんだろう？」と、いつも思っていました。でも、やっと分かりました。父や母たち大人が納めている税金は、私たち学生の教科書や、みんなの暮らしにいろいろ役立てられているということを知りました。そして、びっくりしたことがあります。それは消費税です。私は、ただ品物の値段が上がっただけだと思っていました。でも、それが私たちの暮らしをサポートしている。た聞き、驚いたと共になにかうれしくなりました。だって税金は、大人しか納められないと思っていたし、私は暮らしに貢献してないと思っていたからです。

燕・西蒲原地区の各市町村の中学生を対象に行われた、平成7年度「税に関する中学生の標語・作文」募集において、岩室中学校の星野景子さん（三年）の標語「税金で 明るく暮らそう いつでも」が巻頭賞長賞に、岡本範子さん（二年）の作文「税金の大切さ」が燕西蒲原地区納税貯蓄組

## 税金で明るく暮らそういつまでも

合連会長賞に、それぞれ選ばれました。また、加藤慎也君（二年）の標語「税金でよい生活 ゆとりがもてる」と、本多津君（二年）の標語「税金は ぼくらの幸せ 守ってくれ」もそれぞれ入選しました。それでは、岡本さんの作文をご紹介します。

ました。そして、私はこれを機会に税金のことに興味を持ち、もっといろいろ知りたいと思いました。今はまだまだ勉強不足だけど、今度また税に関して考える時間があったら、もっといい税金の使い方がないかなども考えてみたいと思いました。最後に、本当に税金の大切さがわかりました。だから消費税をしっかりと払うと共に、大人になっても税金をしっかりと納めようと思います。

### 自分の身を守る大切さ...

「二〇番の日」の先月十日、和納保育園に和納駐在所のおまわりさんが来園し、「知らない人にはついていかない」とか、「暗くならないうちに家へ帰る」といった、小さい頃から自分の身を守る大切さを話してくれたら、一緒に記念写真を撮ったりしました。



▲和納駐在所さんと一緒に...



▶「熱いスープが最高！」

「寒風吹く日本海で、心と体を鍛えよう」と先月二日、間瀬海岸において岩室空手道会（大塚日出男会長）新春恒例の寒げいこが行われました。当日は、小・中・高校生や社会人のほか、保育園児も参加。ラジオ体操などの準備運動をした後、約五十名の会員たちは、日本海の荒波の中で、太鼓の音に合わせて千本の正拳突きを行いました。そして寒げいこが終了すると、浜でたき火にあたりながらお母さんたちが用意してくれたスープで体を温めていました。

### 日本海の荒波の中で

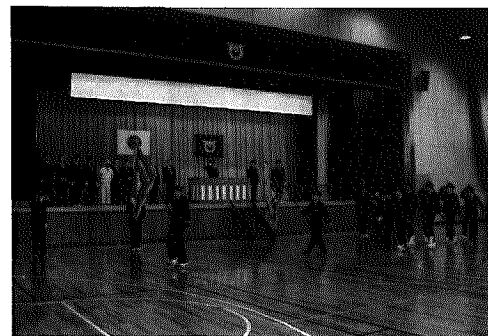
—岩室空手道会・新春寒げいこ—

新春恒例の「消防出初め式」が先月七日、村民体育館において村長や村議会議員、それに消防署職員や消防団員ら消防関係者約二百人が参加して行われ、ことし一年の安全・無火災を誓い合いました。

### ことしの無火災を願う

—岩室村消防出初め式—

新春恒例の「消防出初め式」が先月七日、村民体育館において村長や村議会議員、それに消防署職員や消防団員ら消防関係者約二百人が参加して行われ、ことし一年の安全・無火災を誓い合いました。当日の式典では、団員への辞令交付と消防活動に尽力された方への功績・功労、永年勤続表彰が行われ、その後、通常点検や分列行進が行われました。式に参加した関係者一同は、「火災の無い村にしよう」と決意を新たにしました。



▶消防団員が全員で分列行進

### 村民が一致団結してよりよい村づくり!

—平成8年 新年祝賀会—



▲村内各種団体の代表者が一堂に会して...

毎年恒例となりました「新年祝賀会」がことしも先月五日、老人憩いの家「静閑荘」において、村議会議員や各区長、商工会など、村内各種団体の代表者ら百人を超す人が参加して開催されました。

当日は、まず最初に鷺沢村長が新源泉の自噴や間瀬小の統合問題、エネルギー問題、それに村立図書館の建設等について話した後、「村民が一致団結してよりよい村づくりを推進していきましょう」とあいさつをしました。その後、和田村議会議長・大関農業委員長・三富農協組合長・佐藤商工会長が、それぞれの立場から祝辞を述べられました。

参加者たちは、和気あいあいとした雰囲気の中で、岩室村の将来について語り合いながら親睦を深めていました。